

堂々文派新聞

発行所
堂々立派新聞京都本社
京都府中京区六角通西丸太町
大塚六角ビル2階ウラカフェイン内
郵便番号604
発行人/西崎修平
デザイン/ゆさたろう

今月のナゾ

ライターのは
何とこのころは
何というのだろう

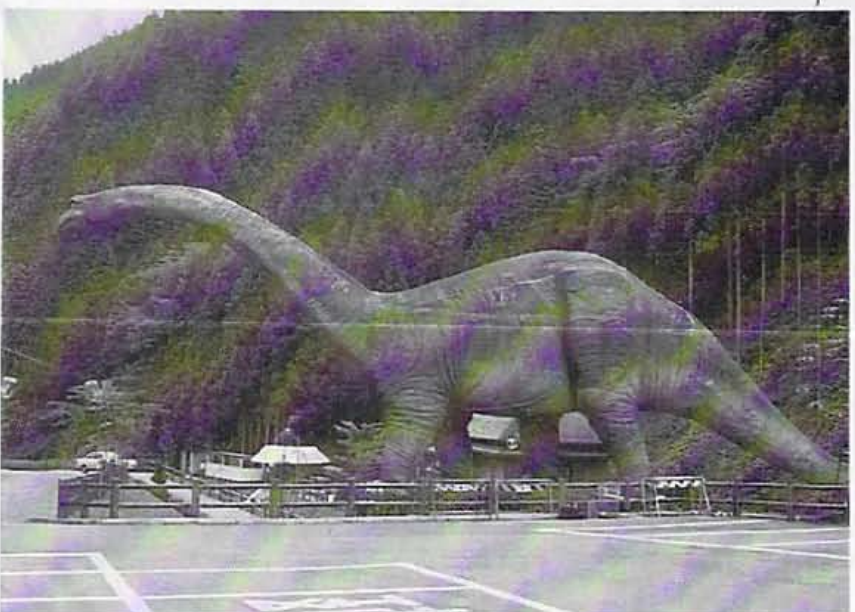


解答は
いずれました。

京都方面に進撃か

「比叡平で巨大な恐竜を見た」との通報が相次いだ六月下旬、本紙取材班は現場に急行、撮影に成功した。恐竜はすぐに逃げ、現在警察と消防、自衛隊でその行方を追っている。現場付近には住宅地やゴルフ場もあることから、当局では「巨大な恐竜がどうして付近の住民やゴルフ場関係者に気付かれることなく現れたり消えたりできたのか」とまどいを隠しきれない様子。また京都に出現する可能性については関係者も言及を避けた。

没出竜恐に平叡比



現場は山中越えから比叡平団地を通り抜けたあたりで、問題の恐竜は目撃者の話などをもとに中生代ジュラ紀から白亜紀にかけて生息したプロントサウルスではないかと推測されている。また、現場付近の比叡平団地やゴルフ場卓子山カントリークラブにこれといった被害が出ていないことについて古代生物学者の山根博士は「食われるなど、直接的被害がでなかったのはプロントサウルスが草食性であるからだろう」と見解を述べた。

脱・山科の悲しい夏

山科にプールはなかった。高度経済成長時代まったただ中だった昭和42年、政令指定都市たる京都市ともあるもの、山科地区にプールと呼べるものをひとつたりとも作っていないことが判明した。

遊びを楽しんでいたが、市水道局が、せっかく地元の好意でお茶を濁していた子供たちに「飲料水を濁す」と横やりを入れ、さらに追い打ちをかけるように山科保健所から「疏水は汚染がひどく水泳には適さない」との指摘があったため、地元民で結成する山科青少年

育成協議会から「とりあえず山科の小学校全部にプールを」と市教委に陳情することが決まった。

翌43年山科に転校したAさん(当時9歳)によると、転校先にはプールがあったというから、陳情は認められ山科の「脱・悲しい夏」はこれで幕となったよう。

が、行政の立ち遅れによる山科の悲劇はこれで終わりではない。駅に続く道路で、今もって路線バスの対面通行ができない事実、他の政令指定都市に対して恥ずかしいことこのうえないである。

お菜処

萬

よろずや

三条烏丸西入ル

ディテイルク
フェイス誌に問
クラブフェイス六月号の
発売直後から、事務局宛に「巻末ハガキを出したいが、ディテイルクイズの問題がどこにあるのかわからなくて困っている」という電話による問い合わせが殺到、電話回線が一時停止する騒ぎになった。

巻末ハガキを出してきた人の中に「どこにあるの？」

を述べているが、巨大な恐竜が人目に触れることなく逃亡できた理由については「よく分からないが、雑木林の中を陸路で北上、あるいは南下した可能性がないとはいえない」と述べるにとどめた。恐竜が京都市内に出現する可能性については「恐竜の」進路がつかめていないので断言できない」と具体的な言及を避けている。

警察と陸上自衛隊では恐竜の存在について「写真があるのなら(恐竜が)いたことは間違いないと見てよいが、名前や具体的な対応策については今後慎重に検討していく」と話しているに過ぎず、当局の対応の遅さに非難の声が上がり始めている。

恐竜の名前は現場が比叡平であることや琵琶湖が近いことから「ヒエイドン」「ヒワゴン」が有力視されているが「ヒエイドン」では弱そうなどの批判の声があり、また「ヒワゴン」はびわこ銀行が口座契約のおりに出しているマスコットの貯金箱と同名で著作権の問題が発生するなど課題は山積されている。

恐竜和歌山に出現 一連の騒動にケリ

和歌山県伊都郡花園村役場では一九日、去る七月一日から同役場に「近くの山中で首の長い巨大な生物らしきものを見た」との通報が多数あり、独自に調査した結果「四足歩行のブロントサウルスに酷似した巨大生物を確認した」と発表した。この巨大生物は六月に比較平から姿を消した恐竜と身体的特徴に共通点が多く、また最大の疑問点だった京都で姿を消した恐竜が一夜のうちに和歌山へ移動した点についても、米の映画監督ステイブン・スピルバーグ氏が「ボクの映画

「ジュラシック・パーク」を見てくれれば分かるけど、恐竜は足が速いんだよ」と流暢な英語で証言したため、当局で同じ個体とみて捜査を続けたところ、比較平の工房から「ウチで造ったものではないか」と申し出があり、同村役場に確認したところ「あ、バレたか」とあっさりその事実を認めた。同村には恐竜など古代生物の模型を集めた恐竜パークがあり、問題の恐竜は比較平の工房で製作、六月二九日同パークに搬入したものと判明。村民は「京都や滋賀のみならずにもぜひ見にきてほしい」と口々に話していた。

クラブフェイム誌から お誕生日に電報が届く

クラブフェイムはこの10月号より、毎月3ページに掲載されている「お誕生日おめでとうございます」のコーナーに登場した人にもれなく、NTTの「お祝い電報」を送ると発表した。編集部では、投稿者たちに

同コーナーへ35字×45字のお祝いメッセージを送る際、相手の誕生日、氏名に加え、送り先の住所を書き添えてほしい、と呼びかけている。

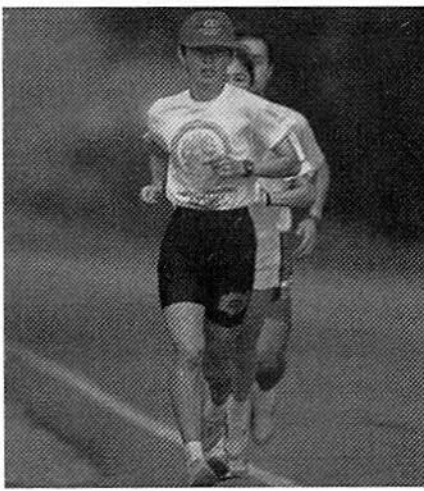
おてる
デザイン
アヴィ

種々雑多広告取扱窓口

暮らして役立つプチ広告!!
お申し込みは、中京区六角通鳥丸東入ル 大輝六角ビル2F 25617555 堂々立派新聞社まで。
このコーナーの記載事項に関するお問い合わせは、直接ご本人にお問い合わせいたします。なお、当欄については事故、トラブルについては本誌は一切責任を負いません。

世界記録保持者への近道

第二回トリアスロン幅跳び選手権大会



第一回大会で見事優勝した大戸島真理子さんの助走

出場者募集中

「アイズはどこ?!」 「イブはどいせ殺到」

と書いてきた人は67名「何のことかわからない」と、その存在すら知らない人が4名、どういわけか「グラマラス」「メトロ」「トゥルー」と、解答を返してきた人が5名いた。

騒ぎの原因はディティールクイズが5月号をもって終了していたにもかかわらず、編集部が巻末ハガキの

「ディティールクイズの答え」欄を抹消し忘れたこと。騒ぎについて同誌編集長、副編集長はともに「いやあ、まいったなあ」と、反省の弁を述べている。
編集部では、「ない」と書いてきた38名に、正解者として何か記念品を贈る検討に入ったが、おそらくただ検討するだけであろう。クラブフェイムは想像以上に貧乏な会社だからである。

堂々立派新聞社では、昨年に続き「第二回トリアスロン幅跳び選手権大会」を琵琶湖畔で開催する。
トリアスロン幅跳びは三・九kmの遠泳、一七・九kmのサイクリング、四二・一九五kmのフルマラソンの助走をつけて幅跳びをし、その距離を競うというもの。

第一回の昨年は屈強の男子選手が次々倒れる中、向日市の主婦大戸島真理子さんが倒れるように14・07kmを跳び、初代チャンピオンに輝いた。
開催は一月二二日。申し込みは封書に写真の履歴書、三ヵ月以内に受診の健康診断書に「死んでも構わない」旨の一筆を入れた覚書に血判を押ししたものを同封し、堂々立派新聞社まで郵送。×切は一月一日。

☆さびしいあなたの家族ごっこ引き受けます。 22112506 小宮山祥広
☆ショートカットの男の子みたいな女の子も高校生不可 06125011165 辻中浩一
☆楽しいコンパしませんか 女子大生大歓迎!!連絡お待ちしてマス。 030171195592 大小田まで

☆貴女もヌード写真を撮ってみませんか。プロのスタッフが希望にお応えします。075146419033 信頼の中島写真事務所
☆明朗会計、わかりやすい企画であなのお手伝いをします。 25617555 山上暢一
☆「かわいい雷魚愛好会」を結成します。参加ご希望の方はクラブフェイム編集部「雷魚」係までハガキで。代表・千林大宮

今月のお言葉

馬の耳の乾物
【意味】食えないヤツのこと。

伏見区 太子橋今市

堂々立派語録

▼「みなさん夏ですよ」のキャンペーンキャラクタは、森高千里であるがそこにはなにか怪しいたくらみがあるような気がする。
森高千里本人は顔も脚線もきれいで、実に健康的なので沖繩に似合うキャラクタ1だ。彼女に問題はない。
▼問題はCF自体にある。彼女が、「暑かあ」「青かあ」「広かあ」と、砂浜を走り回り、腰に手をあて「あーっはっはっはっ」と高笑いのと両手を広げ、低いトーンで「さあ、おいで」とやるCFで、全日空は誰に沖繩旅行しろというのか。女性一般に対してかも知れないが、モリタカファンは本人の健康さとは裏腹に、不健康な中年と病的なおたくがその多数を占めている。
▼「おいで」は相手を見下したセリフであるため、それは若年層オタクに向けられた言葉であろうと想像される。彼らにとってモリタカは「ああっ!女神さまっ」なので、そう言われれば、当然行かねばならぬ。
▼かくしてこの夏、沖繩はモリタカ人形を握り締め、ニヤニヤ笑いながら、カメラ下げてスカートの女の子の後をつけてはチャンスを狙うオタクどもであふれた、はずである。あのCFは全日空のオタク隔離作戦だったともいえるのである。